

# 「広がり」をつくる。

土地は狭いが、広い家がほしい。

家を建てようと思うほとんどの人が考える、

この無理難題は、実現できるのでしょうか？

…それができてしまうのが、建築の面白いところです。

なぜなら、平面図で見ると二次元だけど、

実際の建築は四次元の空間芸術だからです。

土地がいくら狭くても、そこに立体的な思考を加え、

時間を伴う空間体験を考慮した設計を施すと、

実際の広さを遥かに超えた

「広がり」を生み出すことができるのです。

「狭い土地しか見つからなかった…」と、

肩を落とさないでください。

制約がある土地こそ、設計士の腕の見せ所なのです。

